

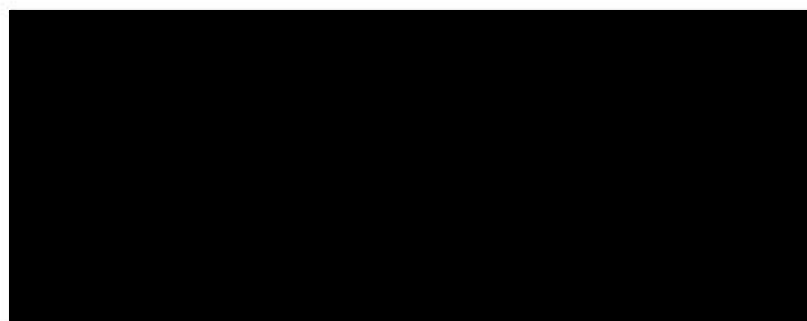
発行No. AQ191145

下関市
菊川総合支所長 様

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

報 告 書

平成31年3月



別表

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿調査箇所箇所一覧

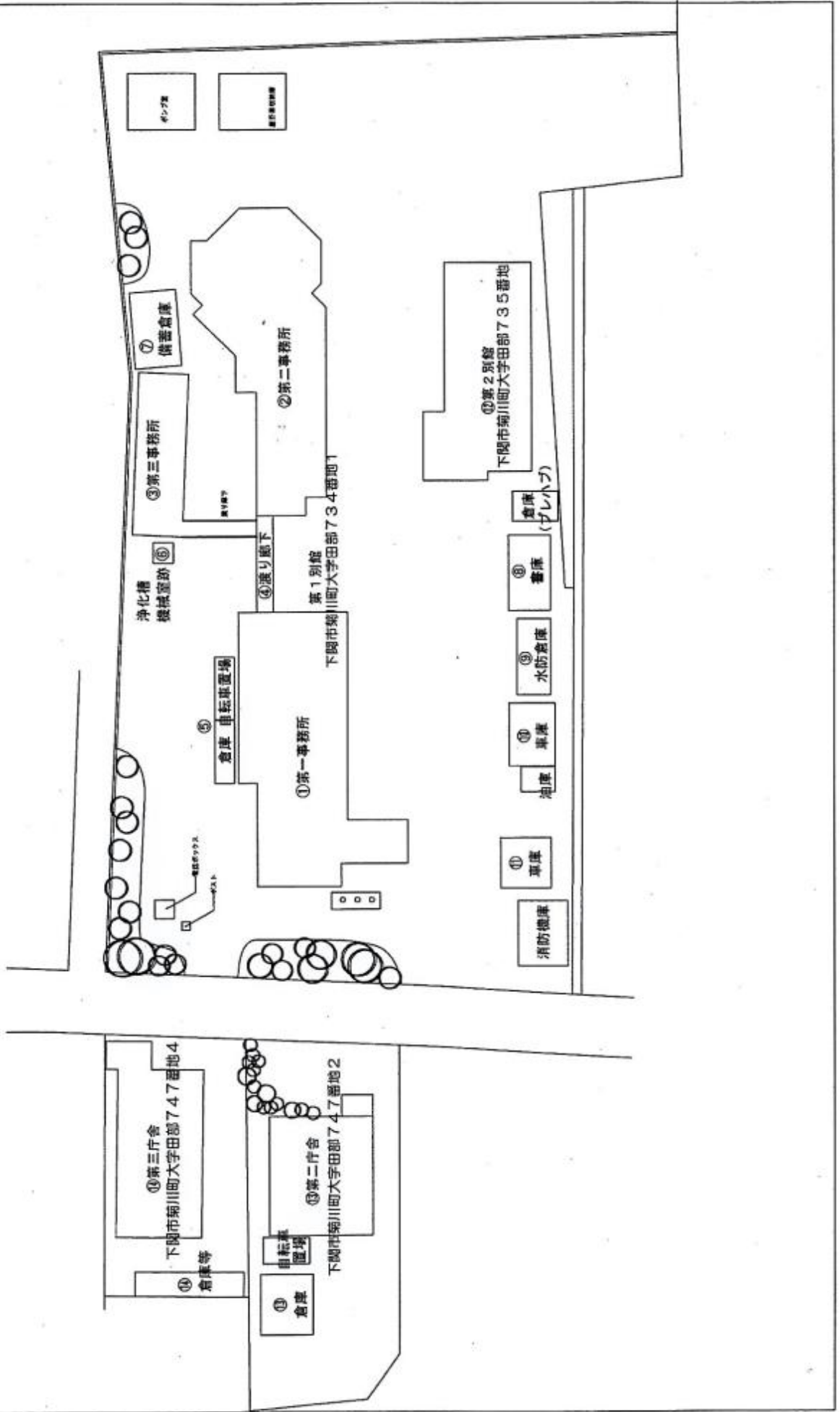
No.	記載No.	場所①	場所②	場所③	対象	掲載場所	備考
1	①外 - 01	第1事務所	外周	外壁面	石膏ボード	別図2	
2	①外 - 02	第1事務所	外周	外壁面	塗装(上地)	別図2	
3	①外 - 03	第1事務所	外周	外壁面	塗装(下地)	別図2	
4	①外 - 04	第1事務所	外周	軒側面	塗装	別図2	
5	①外 - 05	第1事務所	外周	柱面	塗装	別図2	
6	①外 - 06	第1事務所	外周	軒側面	塗装	別図2	
7	①外 - 07	第1事務所	外周	外壁面	石膏ボード	別図2	
8	①外 - 08	第1事務所	外周	外壁面	塗装	別図2	
9	①内 - 01	第1事務所	1階 倉庫	内壁面	塗装	別図4	
10	①内 - 02	第1事務所	1階 管理人室	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
11	①内 - 03	第1事務所	1階 廊下	内壁面	塗装	別図4	
12	①内 - 04	第1事務所	1階 事務室	床面	ビニル床シート	別図4	
13	①内 - 05	第1事務所	1階 事務室	柱面	塗装	別図4	
14	①内 - 06	第1事務所	1階 事務室	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
15	①内 - 07	第1事務所	1階 事務室	床面	ビニル床シート	別図4	
16	①内 - 08	第1事務所	1階 事務室	内壁面	壁紙クロス	別図4	
17	①内 - 09	第1事務所	2階	天井面	壁紙クロス	別図4	
18	①内 - 10	第1事務所	2階	床面	ビニル床シート	別図4	
19	①内 - 11	第1事務所	2階	内壁面(上部)	壁紙クロス	別図4	
20	①内 - 12	第1事務所	2階	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
21	①内 - 13	第1事務所	2階	床面	Pタイル	別図4	
22	①内 - 14	第1事務所	4階	内壁面	塗装	別図2	
23	①煙 - 01	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
24	①煙 - 02	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
25	①煙 - 03	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
26	①煙 - 04	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
27	①煙 - 05	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
28	①煙 - 06	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
29	①煙 - 07	第1事務所	煙突		断熱煙突	別図2	ダイオキシン調査含む
30	②外 - 01	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
31	②外 - 02	第2事務所	外周	階段裏面	塗装	別図3	
32	②外 - 03	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
33	②外 - 04	第2事務所	外周	軒天面	石膏ボード	別図3	
34	②外 - 05	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
35	②外 - 06	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
36	②外 - 07	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
37	②外 - 08	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
38	②外 - 09	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
39	②外 - 10	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3	
40	②外 - 11	第2事務所	外周	壁面	塗装	別図3、別図4	
41	②外 - 12	第2事務所	外周	軒天面	塗装	別図3	
42	②外 - 13	第2事務所	外周	軒天面	石膏ボード	別図3	
43	②外 - 14	第2事務所	外周	柱面	塗装	別図3	
44	②外 - 15	第2事務所	外周	壁面(中段面)	塗装	別図3	
45	②外 - 16	第2事務所	外周	壁面(下段面)	塗装	別図3	
46	②内 - 01	第2事務所	2階 第2会議室	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
47	②内 - 02	第2事務所	2階 第2会議室	床面	Pタイル	別図4	
48	②内 - 03	第2事務所	2階 廊下	内壁面	塗装	別図4	
49	②内 - 04	第2事務所	2階 女子便所	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
50	②内 - 05	第2事務所	2階 議場	内壁面	壁紙クロス	別図4	
51	②内 - 06	第2事務所	2階 議場	内壁面(下側)	石膏ボード	別図4	
52	②内 - 07	第2事務所	2階 議場物入	内壁面	石膏ボード	別図4	
53	②内 - 08	第2事務所	2階 議場物入	天井面	石膏ボード	別図4	
54	②内 - 09	第2事務所	2階 議場	内壁面	壁紙クロス	別図4	
55	②内 - 10	第2事務所	2階 階段室	床面	Pタイル	別図4	
56	②内 - 11	第2事務所	2階 階段室	床面	Pタイル	別図4	
57	②内 - 12	第2事務所	2階 傍聴席	台上	クロス	別図4	
58	②内 - 13	第2事務所	2階 傍聴席	天井面	化粧石膏ボード	別図4	
59	②内 - 14	第2事務所	1階 放送室	天井面	石膏ボード	別図4	
60	③ - 01	第3事務所	外周	外壁中	断熱材	別図5	
61	③ - 02	第3事務所	車庫内	内壁面	石膏ボード	別図5	
62	③ - 03	第3事務所	車庫内	天井面	石膏ボード	別図5	
63	③ - 04	渡廊下	2階	天井面	化粧石膏ボード	別図5	
64	③ - 05	渡廊下	2階	内壁面	塗装	別図5	
65	③ - 06	第3事務所	2階	内壁面	壁紙クロス	別図5	
66	④ - 01	渡廊下	2階	天井面	化粧石膏ボード	別図5	
67	⑤ - 01	倉庫	外周	外壁面	石膏ボード	別図4	
68	⑤ - 02	自転車置場	外周	外壁面	スレート波板	別図4	
69	⑥ - 01	浄化槽機械室跡	外周	外壁面	塗装	別図6	
70	⑥ - 02	浄化槽機械室跡	外周	屋根壁面	塗装	別図6	

別表

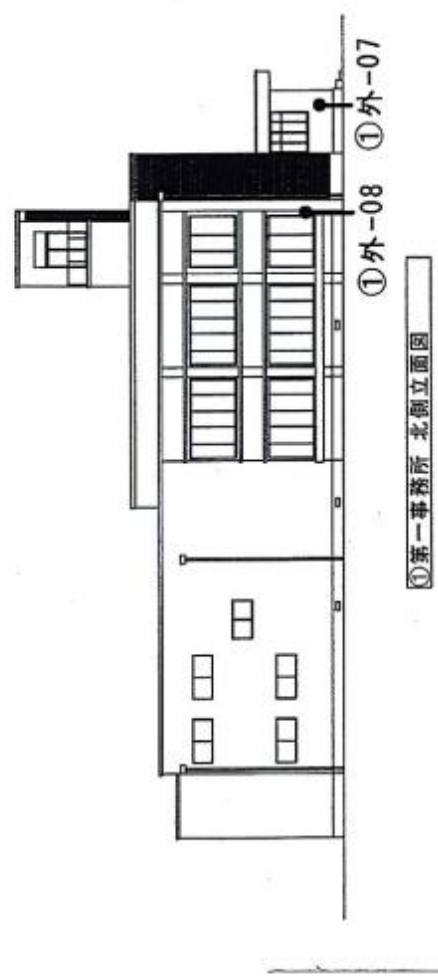
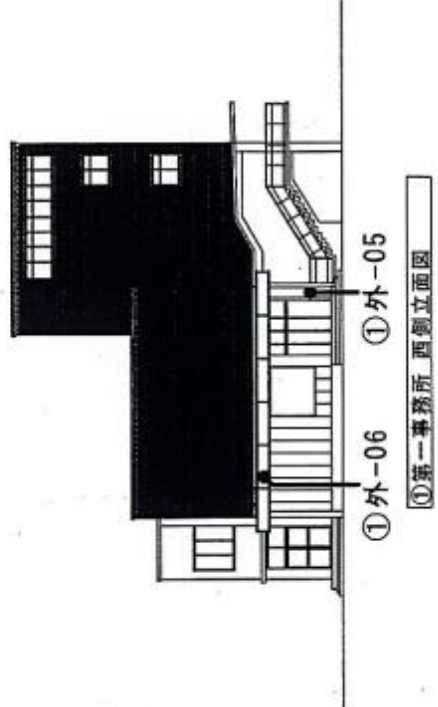
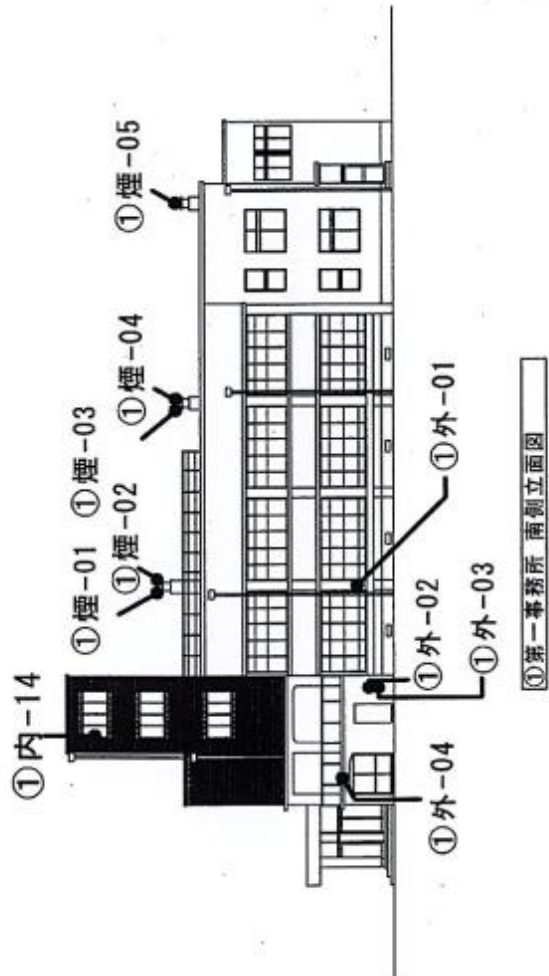
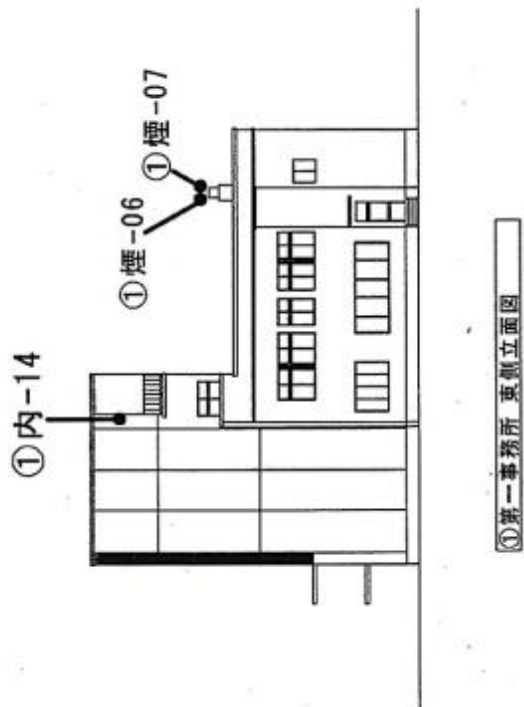
菊川総合支所第1別館ほか含有石綿調査箇所箇所一覧

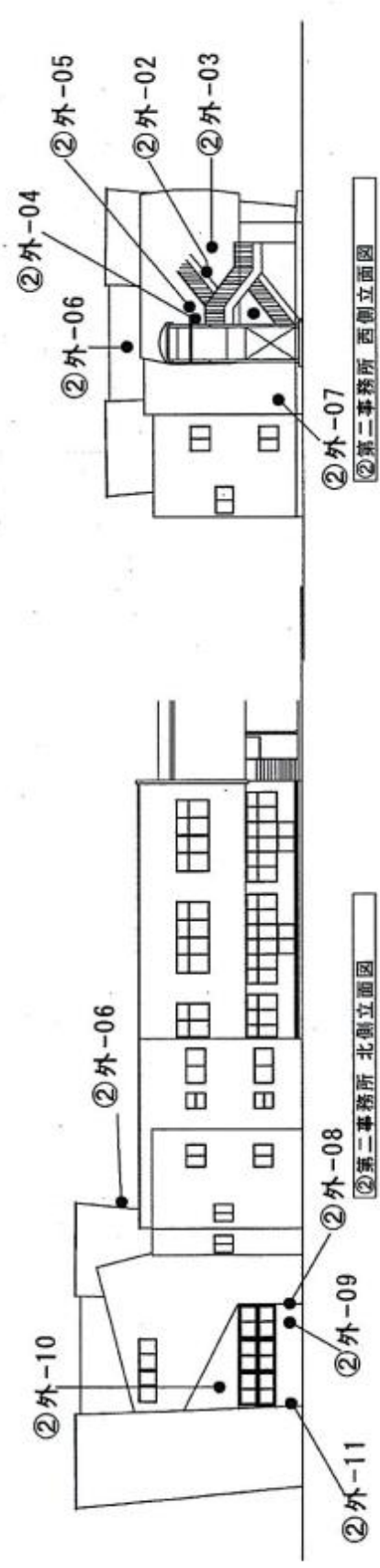
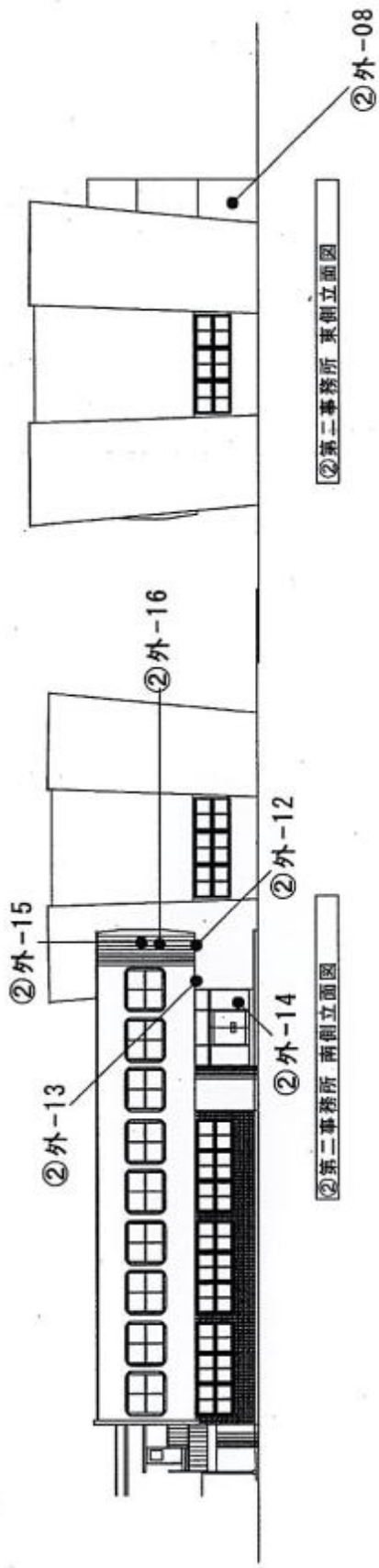
No.	記載No.	場所①	場所②	場所③	対象	掲載場所	備考
71	⑥ - 03	浄化槽機械室跡	室内	床面	モルタル	別図6	
72	⑥ - 04	浄化槽機械室跡	室内	内壁面	塗装	別図6	
73	⑦ - 01	備蓄倉庫	外周	外壁面	石膏ボード	別図6	
74	⑦ - 02	備蓄倉庫	1階	内壁面	耐火被覆(吹付)	別図6	
75	⑦ - 03	備蓄倉庫	1階	柱面	耐火被覆(板)	別図6	
76	⑦ - 04	備蓄倉庫	1階	内壁面	石膏ボード	別図6	
77	⑧ - 01	書庫	外周	外壁面	スレート波板	別図6	
78	⑧ - 02	書庫	1階	床面	モルタル	別図6	
79	⑨ - 01	水防倉庫	外周	屋根材	スレート波板	別図6	
80	⑩ - 01	車庫	外周	屋根材	スレート波板	別図6	
81	⑪ - 01	車庫	外周	屋根材	スレート波板	別図6	
82	⑫ - 01	第2別館	外周	手洗壁面	塗装	別図7	
83	⑫ - 02	第2別館	外周	外壁面	塗装	別図7	
84	⑫ - 03	第2別館	外周	軒側面	塗装	別図7	
85	⑫ - 04	第2別館	外周	屋根側面	塗装	別図7	
86	⑫ - 05	第2別館	1階	事務室	床面	Pタイル	別図7
87	⑫ - 06	第2別館	1階	廊下	床面	Pタイル	別図7
88	⑫ - 07	第2別館	1階	事務室	床面	Pタイル	別図7
89	⑫ - 08	第2別館	1階	事務室	内壁面	壁紙クロス	別図7
90	⑫ - 09	第2別館	1階	事務室	内壁面	壁紙クロス	別図7
91	⑫ - 10	第2別館	1階	廊下	内壁面	塗装	別図7
92	⑫ - 11	第2別館	1階	廊下	天井面	化粧石膏ボード	別図7
93	⑫ - 12	第2別館	1階	身障トイレ	内壁面	塗装	別図7
94	⑫ - 13	第2別館	1階	健康増進室	内壁面	壁紙クロス	別図7
95	⑫ - 14	第2別館	2階	調理実習室	床面	ビニル床シート	別図7
96	⑫ - 15	第2別館	2階	集団指導室	床面	ビニル床シート	別図7
97	⑫ - 16	第2別館	2階	集団指導室	中央天井	壁紙クロス	別図7
98	⑫ - 17	第2別館	2階	小会議室	内壁面	壁紙クロス	別図7
99	⑫ - 18	第2別館	2階	ホール	内壁面	壁紙クロス	別図7
100	⑫ - 19	第2別館	2階	和室	内壁面	壁紙クロス	別図7
101	⑫ - 20	第2別館	2階	和室	内壁面	壁紙クロス	別図7
102	⑫ - 21	第2別館	2階	バルコニー	外壁面	塗装	別図7
103	⑬ - 01	第2庁舎	1階	風除室	内壁面	塗装	別図8
104	⑬ - 02	第2庁舎	外周	外壁面	塗装	別図8	
105	⑬ - 03	第2庁舎	1階	事務室	天井面	化粧石膏ボード	別図8
106	⑬ - 04	第2庁舎	1階	湯沸室	天井面	化粧石膏ボード	別図8
107	⑬ - 05	第2庁舎	外周	軒天面	石膏ボード	別図8	
108	⑬ - 06	第2庁舎	外周	門柱壁面	塗装	別図8	
109	⑬ - 07	第2庁舎	倉庫	外壁面	スレート波板	別図8	
110	⑬ - 08	第2庁舎	倉庫	駐車場内壁面	石膏ボード	別図8	
111	⑬ - 09	第2庁舎	倉庫	天井面	石膏ボード	別図8	
112	⑭ - 01	第3庁舎	外周	自転車置場	外壁面	塗装	別図9
113	⑭ - 02	第3庁舎	外周	外壁面	塗装	別図9	
114	⑭ - 03	第3庁舎	外周	軒天面	石膏ボード	別図9	
115	⑭ - 04	第3庁舎	1階	廊下	床面	Pタイル	別図9
116	⑭ - 05	第3庁舎	1階	湯沸室	内壁面	モルタル	別図9

別図 1

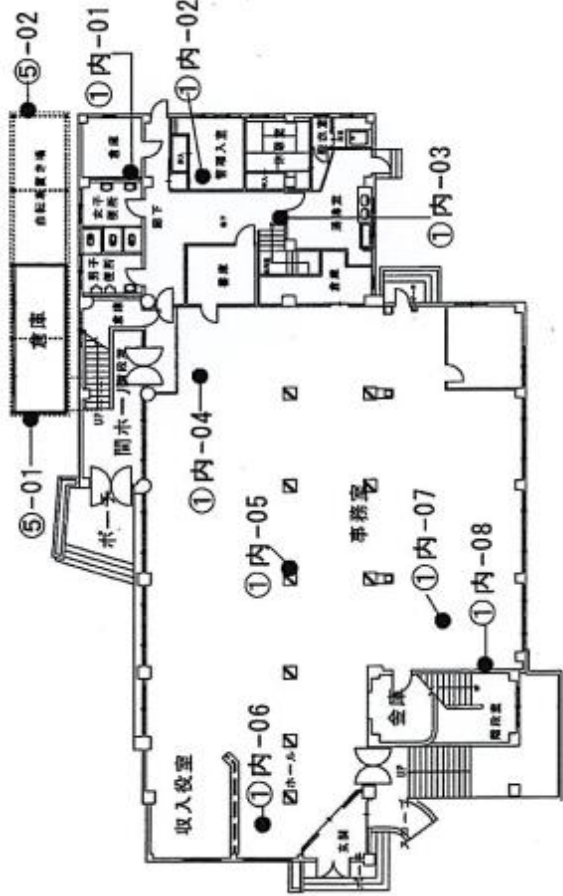


別図 2

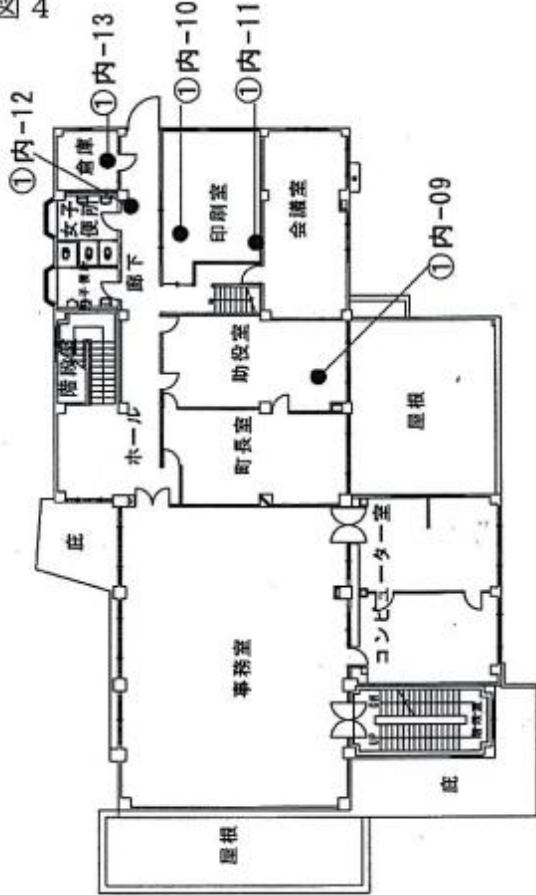




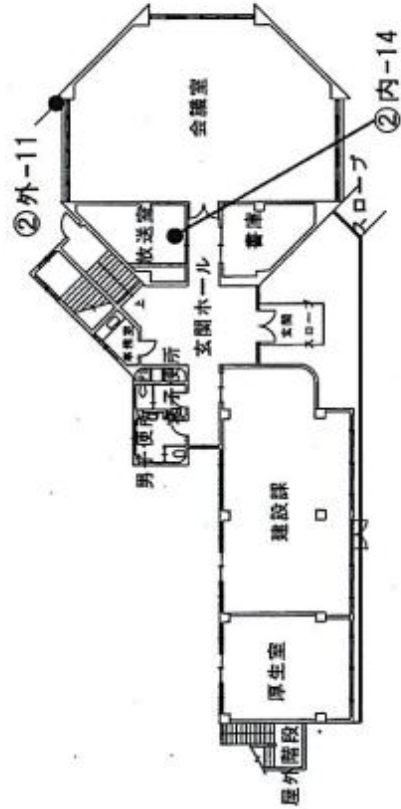
別図 4



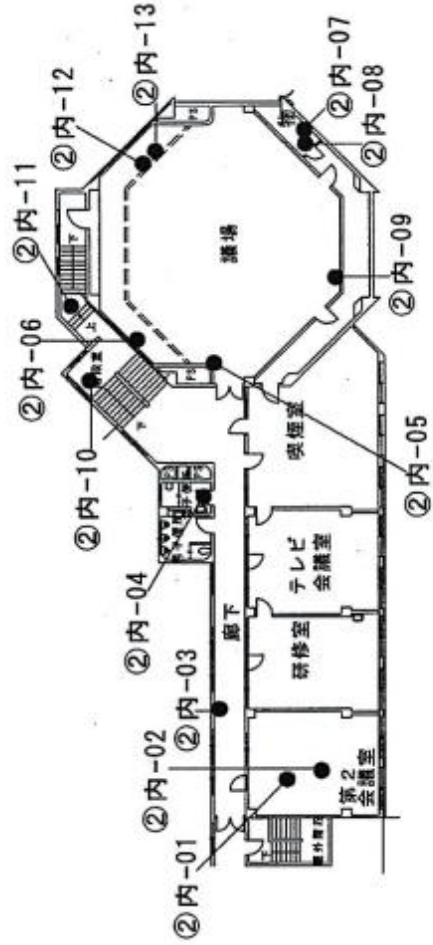
①第一事務所 1階平面図



①第一事務所 2階平面図

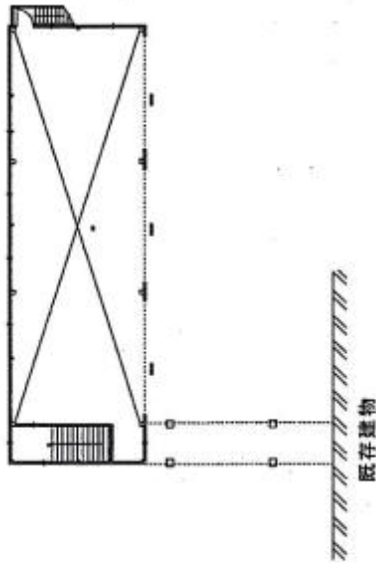


②第二事務所 1階平面図

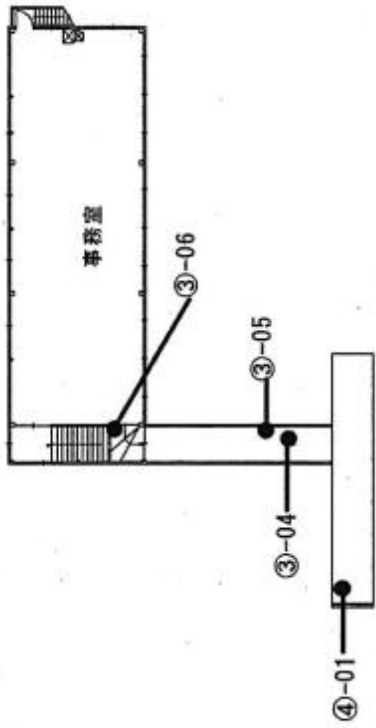


②第二事務所 2階平面図

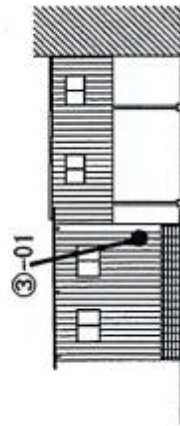
別図 5



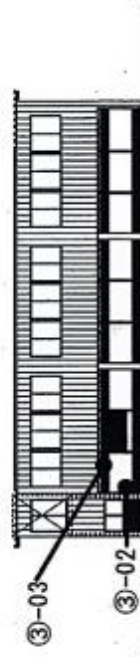
③第三事務所 1階平面図



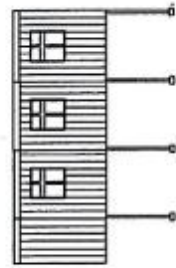
③第三事務所 2階平面図 ④取込下



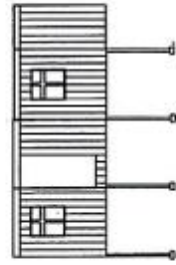
③第三事務所 西側立面図



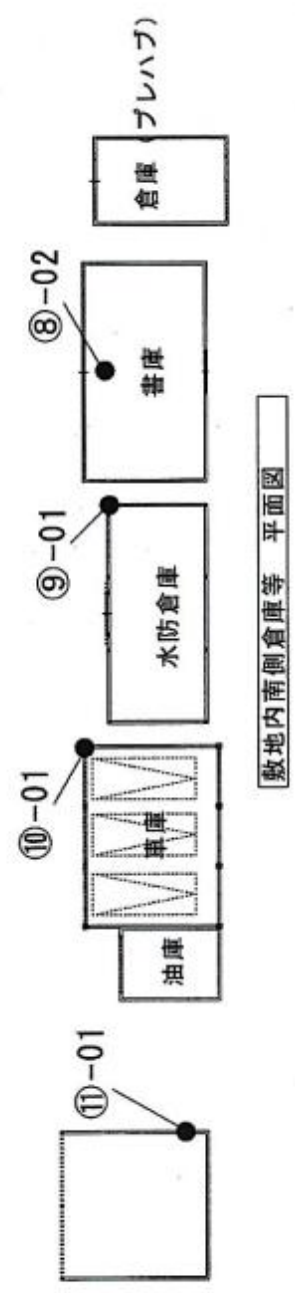
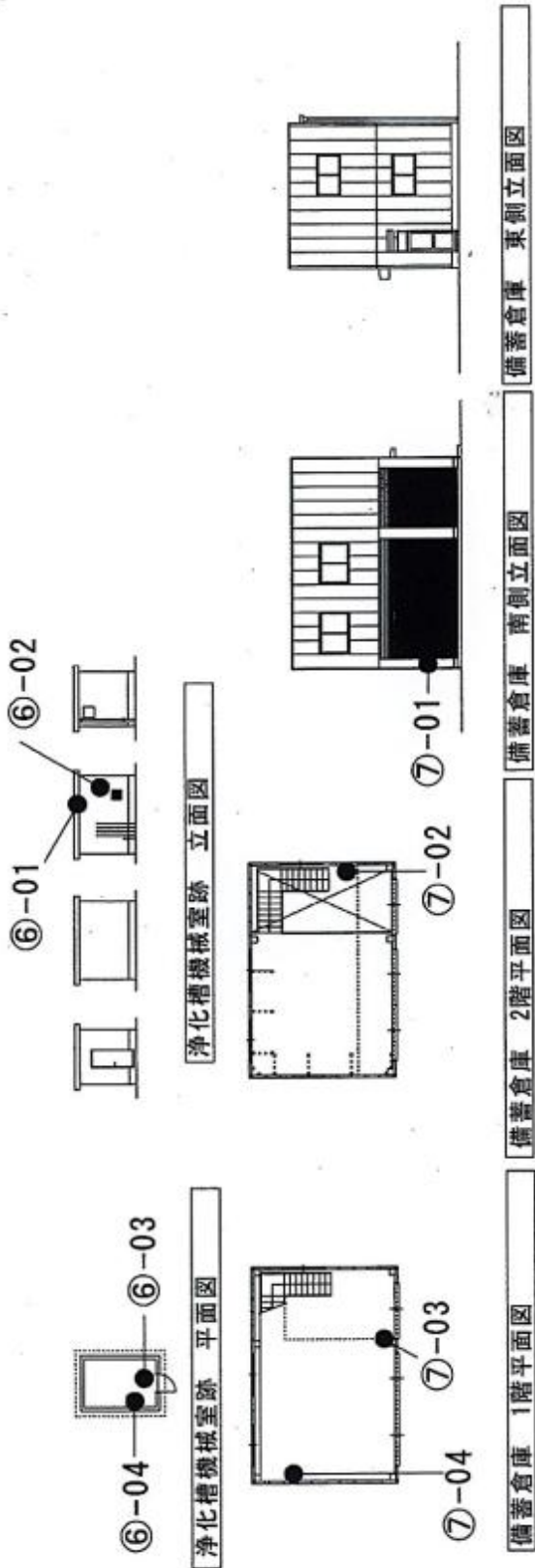
③第三事務所 南側立面図



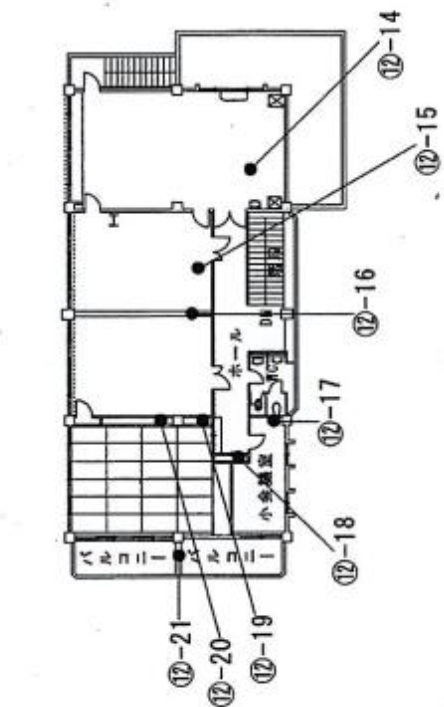
④第三事務所 南側立面図



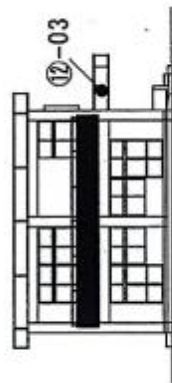
④第三事務所 北側立面図



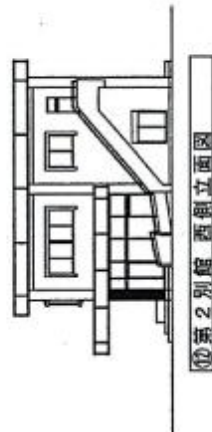
別図 7



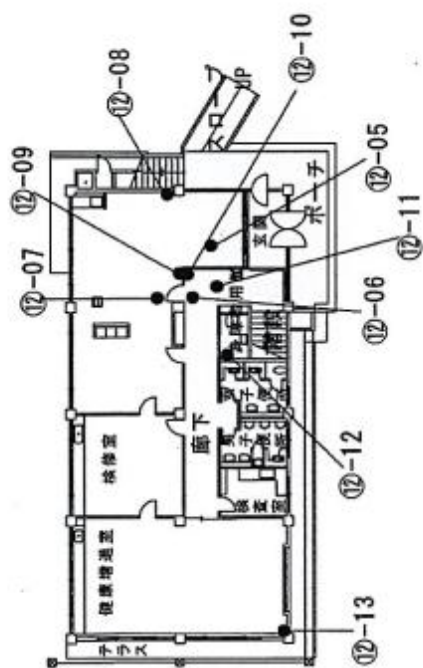
⑫第2別館 2階平面図



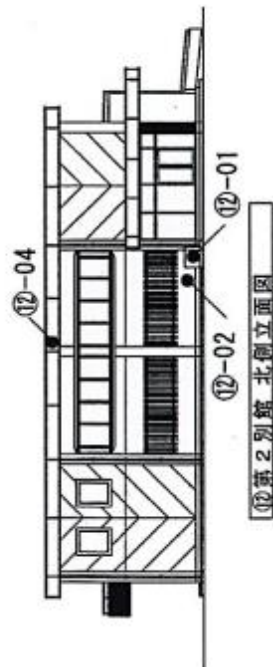
⑫第2別館 東側立面図



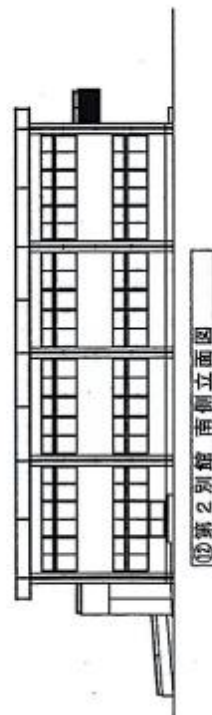
⑫第2別館 西側立面図



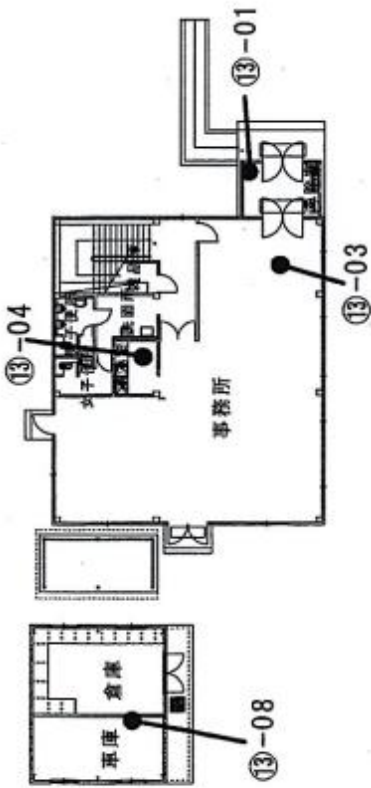
⑫第2別館 1階平面図



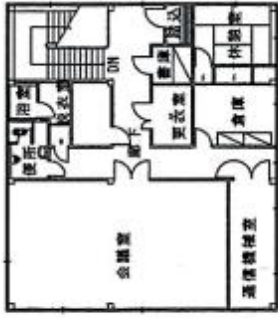
⑫第2別館 北側立面図



⑫第2別館 南側立面図



⑬第二庁舎敷地内 1階平面図



⑬第二庁舎 2階平面図



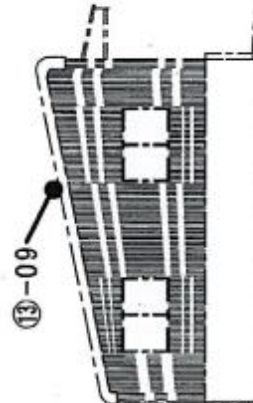
⑬第二庁舎 西側立面図



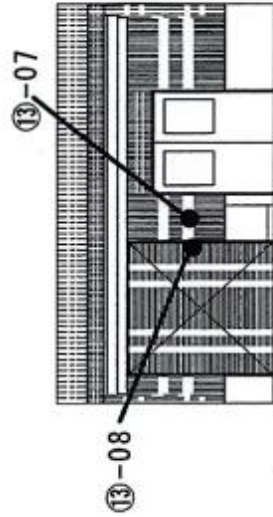
⑬第二庁舎 東側立面図



⑬第二庁舎 南側立面図



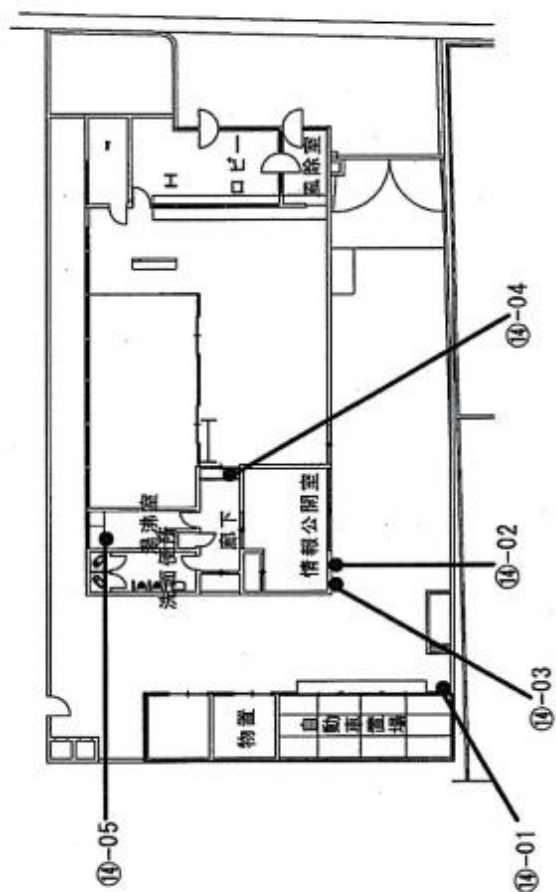
西側立面図



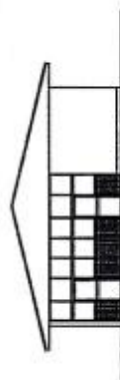
南側立面図

⑬倉庫 立面図

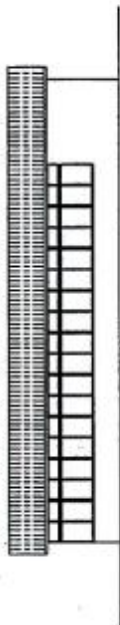
別図 9



⑭第三庁舎敷地内 1階平面図



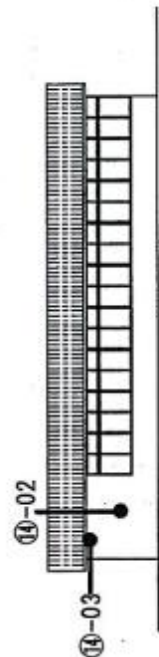
⑭第三庁舎 東側立面図



⑭第三庁舎 南側立面図



⑭第三庁舎 西側立面図



⑭第三庁舎 北側立面図

菊川総合支所 第1事務所

アスベスト分析結果①

29 検体

保存40年

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル [1.20版] (厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称	代表者氏名
所在地	
信頼性保障/品質確保の認証等	
その他(作業環境測定機関登録等)	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
—	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 19日 ~ 2019年 3月 4日
-------	----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第1事務所
------	-------

2. 分析結果

AQ191145

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で確認された繊維	観察事項	*	判定
		石綿の種類	推定石綿質量分率(%)					
1	①外-01	層1	なし	無検出	なし	10% 薄黄色	-	含有
		層2	なし	無検出	セルロース	30% 白色		
		層3	クリソタイル	0.1~5%	なし	30% 灰色		
		層4	なし	無検出	なし	30% 白色		
2	①外-02	層1	なし	無検出	なし	15% 薄黄色	-	含有
		層2	なし	無検出	セルロース	15% 白色		
		層3	クリソタイル	0.1~5%	なし	50% 灰色		
		層4	なし	無検出	なし	20% 薄黄色		
3	①外-03	層1	なし	無検出	なし	100% 薄黄色	-	不含
4	①外-04	層1	なし	無検出	なし	10% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	なし	90% 白色		
5	①外-05	層1	なし	無検出	なし	100% 白色	-	不含
6	①外-06	層1	なし	無検出	なし	10% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	なし	90% 白色		
7	①外-07	層1	なし	無検出	なし	10% 白色	-	不含
		層2	なし	無検出	なし	90% 白色		
8	①外-08	層1	なし	無検出	なし	10% 薄黄色	-	不含
		層2	なし	無検出	なし	90% 白色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウィンチャイト(Wnc)、リヒテライト(Ret)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・、と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル[1.20版] (厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保障/品質確保の認証等			
その他(作業環境測定機関登録等)			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 21日 ~ 2019年 3月 6日
-------	----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第1事務所
------	-------

2. 分析結果

AQ191145

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で確認された繊維	観察事項	*	判定
		層	石綿の種類	推定石綿質量分率(%)				
1	①内-01	層1	なし	無検出	セルロース	100% 白色	—	不含
2	①内-02	層1	なし	無検出	なし	5% 薄褐色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	95% 茶色		
3	①内-03	層1	なし	無検出	なし	5% 薄褐色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	85% 白色		
		層3	なし	無検出	なし	10% 薄灰色		
4	①内-04	層1	なし	無検出	セルロース	5% 薄橙色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース ミネラルウール	85% 白色		
		層3	なし	無検出	セルロース	10% 茶色		
5	①内-05	層1	なし	無検出	なし	2% 薄黄色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		
		層3	なし	無検出	なし	8% 薄灰色		
6	①内-06	層1	なし	無検出	なし	5% 白色	—	含有
		層2	クリンタイル	0.1~5%	セルロース ミネラルウール	90% 灰色		
		層3	なし	無検出	セルロース	5% 茶色		
7	①内-07	層1	なし	無検出	セルロース	10% 薄褐色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース ミネラルウール	90% 白色		
8	①内-08	層1	なし	無検出	なし	5% 白色	—	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	5% 茶色		
		層3	なし	無検出	セルロース	90% 薄橙色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリンタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウィンチャイト(Wnc)、リヒテライト(Rct)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・、と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

保存40年

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1（偏光顕微鏡法）※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1：2016 第1部：市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1（X線回折分析法）※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3：2014 第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル [1. 20版]（厚生労働省 平成30年3月）

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保障／品質確保の認証等			
その他（作業環境測定機関登録等）			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 22日 ～ 2019年 3月 6日
-------	----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第1事務所
------	-------

1. 試料採取履歴

AQ191145

建物、配管設備、機器等 の名称及び用途	名称	第1事務所			
	用途	事務所			
施工年及び建築物への 施工などを採用した年	-				
採取箇所等の指示（判断）者の 所属、氏名、資格	-				
採取者の所属、氏名、資格	持ち込み試料				
試料 No.	試料名称	採取場所	採取部位	建材名称	別添 データ No.
1	①内-09	第1事務所 2階 天井面	壁紙クロス	壁紙クロス	別添1
2	①内-10	第1事務所 2階 床面	ビニル床シート	ビニル床シート	別添2
3	①内-11	第1事務所 2階 内壁面(上部)	壁紙クロス	壁紙クロス	別添3
4	①内-12	第1事務所 2階 天井面	化粧石膏ボード	化粧石膏ボード	別添4
5	①内-13	第1事務所 2階 床面	Pタイル	Pタイル	別添5

2. 分析結果

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で 確認された 繊維	観察事項	*	判定
		石綿の種類	推定石綿 質量分率(%)					
1	①内-09	層1	なし	無検出	なし	10% 薄灰色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	5% 白色		
		層3	なし	無検出	セルロース	85% 茶色		
2	①内-10	層1	なし	無検出	なし	10% 茶色	-	含有
		層2	なし	無検出	セルロース	50% 白色		
		層3	クリソタイル	5~50%	セルロース	38% 白色		
		層4	なし	無検出	なし	2% 黄土色		
3	①内-11	層1	なし	無検出	セルロース	100% 薄黄色	-	不含
4	①内-12	層1	クリソタイル	0.1~5%	セルロース	100% 茶色	-	含有
5	①内-13	層1	クリソタイル	0.1~5%	セルロース	98% 茶色	-	含有
		層2	なし	無検出	なし	2% 黒色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、
アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウインチャイト(Wnc)、リヒテライト(Rct)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル[1.20版] (厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保障/品質確保の認証等			
その他(作業環境測定機関登録等)			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 19日 ~ 2019年 3月 4日
-------	----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第1事務所
------	-------

2. 分析結果

AQ191145

試料 No.	試料名		偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外で 確認された 繊維	観察事項	*	判定
			石綿の種類	推定石綿 質量分率 (%)				
1	①煙-01	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
2	①煙-02	層1	クリソタイル クロシドライト	5~50% 0.1~5%	セルロース	100% 灰色	—	含有
3	①煙-03	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
4	①煙-04	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
5	①煙-05	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
6	①煙-06	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
7	①煙-07	層1	クリソタイル	5~50%	セルロース	100% 灰色	—	含有
	以下余白							

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウインチャイト(Wnc)、リヒテライト(Ret)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・、と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

菊川総合支所 第2事務所

アスベスト分析結果②

30 検体

保存40年

平成31年3月14日

報告書(証明書)番号:(石)19-0014

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	代表者氏名
所在地	
信頼性保証/品質確保の認証等	—
その他(作業環境測定機関登録等)	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ~ 平成31年3月14日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途		名称	下関市 菊川総合支所 第2事務所
		用途	—
施工年及び建築物への施工などを採用した年		—	
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格		下関市 菊川総合支所 地域政策課 ■■■■■	
採取者の所属、氏名、資格		■■■■■	
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2658-1	②外 — 01	外周 壁面 塗装	1
I2658-2	②外 — 02	外周 階段裏面 塗装	2
I2658-3	②外 — 03	外周 壁面 塗装	3
I2658-4	②外 — 04	外周 軒天面 石膏ボード ※	4
I2658-5	②外 — 05	外周 壁面 塗装	5
I2658-6	②外 — 06	外周 壁面 塗装	6
I2658-7	②外 — 07	外周 壁面 塗装	7
I2658-8	②外 — 08	外周 壁面 塗装	8
I2658-9	②外 — 09	外周 壁面 塗装	9
I2658-10	②外 — 10	外周 壁面 塗装	10
I2658-11	②外 — 11	外周 壁面 塗装	11
I2658-12	②外 — 12	外周 軒天面 塗装	12
I2658-13	②外 — 13	外周 軒天面 石膏ボード ※	13
I2658-14	②外 — 14	外周 柱面 塗装	14
I2658-15	②外 — 15	外周 壁面（中段面） 塗装	15
I2658-16	②外 — 16	外周 壁面（下段面） 塗装	16
I2658-17	②内 — 01	2階 第2会議室 天井面 化粧石膏ボード	17
I2658-18	②内 — 02	2階 第2会議室 床面 Pタイル	18
I2658-19	②内 — 03	2階 廊下 内壁面 塗装	19
I2658-20	②内 — 04	2階 女子便所 天井面 化粧石膏ボード ※	20
I2658-21	②内 — 05	2階 議場 内壁面 壁紙クロス	21
I2658-22	②内 — 06	2階 議場 内壁面（下側）石膏ボード ※	22
I2658-23	②内 — 07	2階 議場物入 内壁面 石膏ボード ※	23
I2658-24	②内 — 08	2階 議場物入 天井面 石膏ボード ※	24
I2658-25	②内 — 09	2階 議場 内壁面 壁紙クロス	25
I2658-26	②内 — 10	2階 階段室 床面 Pタイル	26
I2658-27	②内 — 11	2階 階段室 床面 Pタイル	27
I2658-28	②内 — 12	2階 傍聴席 台上 クロス	28
I2658-29	②内 — 13	2階 傍聴席 天井面 化粧石膏ボード	29
I2658-30	②内 — 14	1階 放送室 天井面 石膏ボード ※	30

※ 実試料の建材種類と相違がある。（別添データ コメント欄参照）

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の 確認された繊維	別添 データ No.
	石綿の 種類	推定石綿質量分率		
②外 — 01	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	1
②外 — 02	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	2
②外 — 03	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	3
②外 — 04	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	4
②外 — 05	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	5
②外 — 06	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	6
②外 — 07	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	7
②外 — 08	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	8
②外 — 09	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	9
②外 — 10	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	10
②外 — 11	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	11
②外 — 12	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	12
②外 — 13	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	13
②外 — 14	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	14
②外 — 15	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	15
②外 — 16	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	16
②内 — 01	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 ウオラストナイト	17
②内 — 02	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 ウオラストナイト 有機繊維 人造鉱物繊維	18
②内 — 03	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	19
②内 — 04	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	20
②内 — 05	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	21
②内 — 06	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	22
②内 — 07	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	23
②内 — 08	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	24

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の 確認された繊維	別添 データ No.
	石綿の 種類	推定石綿質量分率		
②内 — 09	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	25
②内 — 10	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	26
②内 — 11	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	27
②内 — 12	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	28
②内 — 13	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	29
②内 — 14	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	30
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維 (MMMF)、セルロース (CE)、合成有機繊維 (SYN)、タルク (TA)、ウォラストナイト (WO)、ネマライト (繊維状ブルーサイト、NE)、石こう (GYP)、セピオライト (SE) などがある。

菊川総合支所 第3事務所・渡廊下

アスベスト分析結果③

6 検体

保存40年

平成31年3月25日

報告書（証明書）番号：(石)19-0015

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1（偏光顕微鏡法） ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	代表者氏名
所在地	
信頼性保証/品質確保の認証等	—
その他（作業環境測定機関登録等）	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ～ 平成31年3月19日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 第3事務所、渡廊下	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 [REDACTED]		
採取者の所属、氏名、資格	[REDACTED]		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
12659-1	③ — 01	第3事務所 外周 外壁中 断熱材	1
12659-2	③ — 02	第3事務所 車庫内 内壁面 石膏ボード	2
12659-3	③ — 03	第3事務所 車庫内 天井面 石膏ボード ※	3
12659-4	③ — 04	渡廊下 2階 天井面 化粧石膏ボード	4
12659-5	③ — 05	渡廊下 2階 内壁面 塗装	5
12659-6	③ — 06	第3事務所 2階 内壁面 壁紙クロス	6

※ 実試料の建材種類と相違がある。
(別添データ コメント欄参照)

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
③ — 01	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維 人造鉱物繊維	1
③ — 02	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維 人造鉱物繊維	2
③ — 03	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維	3
③ — 04	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維 人造鉱物繊維	4
③ — 05	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維	5
③ — 06	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①・無 有機繊維 鉱物繊維	6
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロソドライト Tre:トレモライト
Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維 (MMF)、セルロース (CE)、合成有機繊維 (SYN)、タルク (TA)、ウォラストナイト (WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう (GYP)、セピオライト (SE) などがある。

菊川総合支所 渡廊下

アスベスト分析結果④

1 検体

保存40年

平成31年3月25日

報告書(証明書)番号:(石)19-0016

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他(作業環境測定機関登録等)			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ~ 平成31年3月20日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 渡廊下	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 ■■■■■		
採取者の所属、氏名、資格	■■■■■		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2660-1	④ — 01	2階 天井面 化粧石膏ボード	1
	以下余白		

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
④ — 01	—	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	④・無 有機繊維 人造鉱物繊維	1
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMM）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 倉庫・自転車置場

アスベスト分析結果⑤

2 検体

保存40年

平成31年3月13日

報告書（証明書）番号：(石)19-0017

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1（偏光顕微鏡法） ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	代表者氏名
所在地	
信頼性保証/品質確保の認証等	—
その他（作業環境測定機関登録等）	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
—	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ～ 平成31年2月27日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 倉庫、自転車置場	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 [REDACTED]		
採取者の所属、氏名、資格	[REDACTED]		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データ No.
I2661-1	⑤ — 01	倉庫 外周 外壁面 石膏ボード ※	1
I2661-2	⑤ — 02	自転車置場 外周 外壁面 スレート波板	2
	以下余白		

※ 実試料の建材種類と相違がある。
(別添データ コメント欄参照)

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データ No.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
⑤ — 01	Chr	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	1
⑤ — 02	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無 有機繊維	2
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維 (MMMF)、セルロース (CE)、合成有機繊維 (SYN)、タルク (TA)、ウォラストナイト (WO)、ネマライト(繊維状ブルーサイト、NE)、石こう (GYP)、セピオライト (SE) などがある。

菊川総合支所 浄化槽機械室跡

アスベスト分析結果⑥

4 検体

保存40年

平成31年3月25日

報告書(証明書)番号:(石)19-0018

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	[REDACTED]	代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]		
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他(作業環境測定機関登録等)	[REDACTED]		
連絡担当者	[REDACTED]		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
[REDACTED]	[REDACTED]		
[REDACTED]	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ~ 平成31年3月20日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

菊川総合支所 備蓄倉庫

アスベスト分析結果⑦

4 検体

保存40年

平成31年3月25日

報告書(証明書)番号:(石)19-0019

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	[REDACTED]	代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]		
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他(作業環境測定機関登録等)	[REDACTED]		
連絡担当者	[REDACTED]		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
[REDACTED]	[REDACTED]		
[REDACTED]	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年3月4日 ~ 平成31年3月22日
-------	------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 備蓄倉庫	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 ■■■■■		
採取者の所属、氏名、資格	■■■■■		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データ No.
I2663-1	⑦ — 01	外周 外壁面 石膏ボード ※	1
I2663-2	⑦ — 02	1階 内壁面 耐火被覆（吹付）	2
I2663-3	⑦ — 03	1階 柱面 耐火被覆（板）※	3
I2663-4	⑦ — 04	1階 内壁面 石膏ボード ※	4
	以下余白		

※ 実試料の建材種類と相違がある。

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データ No.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
⑦ — 01	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	1
⑦ — 02	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 人造鉱物繊維	2
⑦ — 03	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維 ウォラストナイト 人造鉱物繊維	3
⑦ — 04	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	4
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 書庫

アスベスト分析結果⑧

2 検体

保存40年

平成31年3月25日

報告書（証明書）番号：(石)19-0020

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1（偏光顕微鏡法） ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称	[REDACTED]	代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]		
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他（作業環境測定機関登録等）	[REDACTED]		
連絡担当者	[REDACTED]		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
[REDACTED]	[REDACTED]		
[REDACTED]	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ～ 平成31年3月22日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 書庫	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 [REDACTED]		
採取者の所属、氏名、資格	[REDACTED]		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2664-1	⑧ — 01	外周 外壁面 スレート波板	1
I2664-2	⑧ — 02	1階 床面 モルタル	2
	以下余白	”	

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
⑧ — 01	Chr, Amo	無検出・検出・0.1-5%・ <u>5-50%</u> ・50-100%	⑧・無 有機繊維	1
⑧ — 02	—	<u>無検出</u> 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	⑧・無 有機繊維	2
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 車庫

アスベスト分析結果⑩

1 検体

保存40年

平成31年3月13日

報告書（証明書）番号：(石)19-0022

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書（証明書）

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1（偏光顕微鏡法） ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	[REDACTED]	代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]		
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他（作業環境測定機関登録等）	[REDACTED]		
連絡担当者	[REDACTED]		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
[REDACTED]	[REDACTED]		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ～ 平成31年2月27日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 車庫	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 ■■■■■		
採取者の所属、氏名、資格	■■■■■		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2666-1	⑩ — 01	外周 屋根材 スレート波板	1
	以下余白		

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.	
	石綿の種類	推定石綿質量分率			
⑩ — 01	Chr	無検出・検出・0.1-5%・ <u>5-50%</u> ・50-100%	⑩・無	有機繊維	1
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無		
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無		
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無		
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無		
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無		
備考					

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイト Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 車庫

アスベスト分析結果⑪

1 検体

保存40年

平成31年3月13日

報告書(証明書)番号:(石)19-0023

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	[REDACTED]	代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]		
信頼性保証/品質確保の認証等	—		
その他(作業環境測定機関登録等)	[REDACTED]		
連絡担当者	[REDACTED]		
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
[REDACTED]	[REDACTED]		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年2月25日 ~ 平成31年2月27日
-------	-------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 車庫	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 [REDACTED]		
採取者の所属、氏名、資格	[REDACTED]		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2667-1	⑪ — 01	外周 屋根材 スレート波板	1
	以下余白		

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
⑪ — 01	Chr	無検出・検出・0.1-5%・ <u>5-50%</u> ・50-100%	①・無 有機繊維	1
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 第2別館

アスベスト分析結果⑫

21 検体

保存40年

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル[1.20版](厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称	[REDACTED]		代表者氏名	[REDACTED]
所在地	[REDACTED]			
信頼性保障/品質確保の認証等	[REDACTED]			
その他(作業環境測定機関登録等)	[REDACTED]			
連絡担当者	[REDACTED]			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況			
[REDACTED]	[REDACTED]			
[REDACTED]	[REDACTED]			
[REDACTED]	[REDACTED]			
—	—			

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 22日 ~ 2019年 3月 13日
-------	-----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第2別館
------	------

1. 試料採取履歴

AQ191145

建物、配管設備、機器等 の名称及び用途	名称	第2別館			
	用途	-			
施工年及び建築物への 施工などを採用した年	-				
採取箇所等の指示（判断）者の 所属、氏名、資格	-				
採取者の所属、氏名、資格	持ち込み試料				
試料 No.	試料名称	採取場所	採取部位	建材名称	別添 データ No.
1	⑫-01	第2別館 外周 手洗壁面	塗装	塗装	別添1
2	⑫-02	第2別館 外周 外壁面	塗装	塗装	別添2
3	⑫-03	第2別館 外周 軒側面	塗装	塗装	別添3
4	⑫-04	第2別館 外周 屋根側面	塗装	塗装	別添4
	以下余白				

2. 分析結果

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で 確認された 繊維	観察事項	*	判定	
		石綿の種類	推定石綿 質量分率 (%)						
1	⑫-01	層1	なし	無検出		なし	10% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出		セルロース	90% 白色		
2	⑫-02	層1	なし	無検出		なし	10% 白色	-	不含
		層2	なし	無検出		セルロース	80% 白色		
		層3	なし	無検出		なし	10% 灰色		
3	⑫-03	層1	なし	無検出		なし	10% 濃褐色	-	不含
		層2	なし	無検出		なし	50% 白色		
		層3	なし	無検出		なし	40% 灰色		
4	⑫-04	層1	なし	無検出		なし	10% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出		セルロース	90% 白色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウィンチャイト(Wnc)、リヒテライト(Rct)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル[1.20版] (厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保障/品質確保の認証等			
その他(作業環境測定機関登録等)			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 25日 ~ 2019年 3月 18日
-------	-----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第2別館
------	------

2. 分析結果

AQ191145

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で 確認された 繊維	観察事項	*	判定
		石綿の種類	推定石綿 質量分率 (%)					
1	⑫-05	層1	クリソタイル	0.1~5%	なし	98% 茶色	-	含有
		層2	クロシドライト	5~50%	なし	2% 白色		
2	⑫-06	層1	なし	無検出	なし	10% 薄褐色	-	不含
		層2	なし	無検出	ミネラルウール	88% 黒色		
		層3	なし	無検出	なし	2% 白色		
3	⑫-07	層1	クリソタイル	0.1~5%	なし	98% 黄土色	-	含有
		層2	クリソタイル	5~50%	なし	2% 白色		
4	⑫-08	層1	なし	無検出	セルロース	5% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		
		層3	なし	無検出	セルロース	5% 茶色		
5	⑫-09	層1	なし	無検出	なし	10% 白色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 薄黄色		
6	⑫-10	層1	なし	無検出	セルロース	100% 白色	-	不含
7	⑫-11	層1	クリソタイル	0.1~5%	セルロース ミネラルウール	100% 灰色	-	含有
8	⑫-12	層1	なし	無検出	なし	100% 薄黄色	-	不含
9	⑫-13	層1	なし	無検出	なし	10% 白色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 薄黄色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウインチャイト(Wnc)、リヒテライト(Rct)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号、平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・、と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

保存40年

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 御中

件名

菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務

ご依頼いただいた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した 分析方法	○	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章 JIS A 1481-1:2016 第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法
	—	定量分析方法1(X線回折分析法) ※アスベスト分析マニュアル第5章 JIS A 1481-3:2014 第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法

石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル[1.20版] (厚生労働省 平成30年3月)

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名 称		代表者氏名	
所在地			
信頼性保障/品質確保の認証等			
その他(作業環境測定機関登録等)			
連絡担当者			
氏名	民間機関による技能評価の取得状況		
—	—		

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	2019年 2月 26日 ~ 2019年 3月 25日
-------	-----------------------------

3. 物件名称

物件名称	第2別館
------	------

2. 分析結果

AQ191145

試料 No.	試料名	偏光顕微鏡による定性分析結果			石綿以外で 確認された 繊維	観察事項	*	判定
		石綿の種類	推定石綿 質量分率(%)					
1	⑫-14	層1	なし	無検出	なし	88% 茶色	-	含有
		層2	なし	無検出	セルロース ミネラルウール	10% 白色		
		層3	クリソタイル	5~50%	なし	2% 薄黄色		
2	⑫-15	層1	クリソタイル	0.1~5%	なし	98% 白色	-	含有
		層2	クリソタイル	5~50%	なし	2% 灰色		
3	⑫-16	層1	なし	無検出	なし	80% 白色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	20% 白色		
4	⑫-17	層1	なし	無検出	セルロース	5% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		
		層3	なし	無検出	セルロース	5% 茶色		
5	⑫-18	層1	なし	無検出	セルロース	5% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		
		層3	なし	無検出	セルロース	5% 茶色		
6	⑫-19	層1	なし	無検出	なし	10% 茶色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		
7	⑫-20	層1	なし	無検出	なし	50% 薄緑色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	50% 薄緑色		
8	⑫-21	層1	なし	無検出	なし	10% 薄黄色	-	不含
		層2	なし	無検出	セルロース	90% 白色		

注1) 対象とした石綿の種類は、クリソタイル(Chr)、アモサイト(Amo)、クロシドライト(Cro)、トレモライト(Tre)、アクチノライト(Act)、アンソフィライト(Ant)に加え、ウインチャイト(Wnc)、リヒテライト(Rct)になります。

注2) 含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。
(石綿障害予防規則：平成18年厚生労働省令第147号，平成18年9月1日より施行)

注3) 層の記載は、表側より層1、層2、層3・・・、と示しています。

注4) 観察事項の%は目視により求めた各層の割合を示します。また、色は各層の外観色を示します。

菊川総合支所 第2庁舎

アスベスト分析結果⑬

9 検体

保存40年

平成31年3月27日

報告書(証明書)番号:(石)19-0024

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	代表者氏名
所在地	
信頼性保証/品質確保の認証等	—
その他(作業環境測定機関登録等)	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年3月4日 ~ 平成31年3月25日
-------	------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 第2庁舎	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 ■■■■■		
採取者の所属、氏名、資格	■■■■■		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
12669-1	⑬ — 01	1階 風除室 内壁面 塗装	1
12669-2	⑬ — 02	外周 外壁面 塗装	2
12669-3	⑬ — 03	1階 事務室 天井面 化粧石膏ボード	3
12669-4	⑬ — 04	1階 湯沸室 天井面 化粧石膏ボード ※	4
12669-5	⑬ — 05	外周 軒天面 石膏ボード ※	5
12669-6	⑬ — 06	外周 門柱壁面 塗装	6
12669-7	⑬ — 07	倉庫 外壁面 スレート波板	7
12669-8	⑬ — 08	倉庫 駐車場内壁面 石膏ボード ※	8
12669-9	⑬ — 09	倉庫 天井面 石膏ボード ※	9

※ 実試料の建材種類と相違がある。

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.	
	石綿の種類	推定石綿質量分率			
⑬ — 01	Chr, Amo	無検出・検出・①0.1-5%・5-50%・50-100%	有・①無	—	1
⑬ — 02	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維 人造鉱物繊維	2
⑬ — 03	Chr	無検出・検出・①0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	3
⑬ — 04	Chr	無検出・検出・①0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	4
⑬ — 05	Chr	無検出・検出・①0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	5
⑬ — 06	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維 人造鉱物繊維	6
⑬ — 07	Chr	無検出・検出・0.1-5%・①5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	7
⑬ — 08	Chr	無検出・検出・0.1-5%・①5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	8
⑬ — 09	—	①無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	①有・無	有機繊維	9
備考					

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイト Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト

Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 第3庁舎

アスベスト分析結果⑭

5 検体

保存40年

平成31年3月27日

報告書(証明書)番号:(石)19-0025

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく 事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

下関市 菊川総合支所 殿

貴所より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

実施した分析方法	定性分析方法1(偏光顕微鏡法) ※アスベスト分析マニュアル第3章
----------	----------------------------------

1. 分析を実施した石綿分析機関等

名称	代表者氏名
所在地	
信頼性保証/品質確保の認証等	—
その他(作業環境測定機関登録等)	
連絡担当者	
氏名	民間機関による技能評価の取得状況
	—

2. 分析を実施した年月日

分析実施日	平成31年3月4日 ~ 平成31年3月27日
-------	------------------------

3. 物件名称

物件名称	菊川総合支所第1別館ほか含有石綿等分析調査業務
------	-------------------------

4. 試料採取履歴

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	下関市 菊川総合支所 第3庁舎	
	用途	—	
施工年及び建築物への施工などを採用した年	—		
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格	下関市 菊川総合支所 地域政策課 [REDACTED]		
採取者の所属、氏名、資格	[REDACTED]		
試料No.	試料名称	採取場所・建材の種類等	別添データNo.
I2670-1	⑭ — 01	外周 自転車置場 外壁面 塗装	1
I2670-2	⑭ — 02	外周 外壁面 塗装	2
I2670-3	⑭ — 03	外周 軒天面 石膏ボード ※	3
I2670-4	⑭ — 04	1階 廊下 床面 Pタイル	4
I2670-5	⑭ — 05	1階 湯沸室 内壁面 モルタル	5
	以下余白		

※ 実試料の建材種類と相違がある。

5. 分析結果

試料名称	偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外の確認された繊維	別添データNo.
	石綿の種類	推定石綿質量分率		
⑭ — 01	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	1
⑭ — 02	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	2
⑭ — 03	Chr	無検出・検出・0.1-5% 5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	3
⑭ — 04	Chr	無検出・検出・0.1-5% 5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	4
⑭ — 05	—	無検出 検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無 有機繊維	5
以下余白		無検出・検出・0.1-5%・5-50%・50-100%	有・無	
備考				

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロソドライト Tre:トレモライト
Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

注2) 推定質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1 を参照のこと。

注3) 推定質量分率の報告区分“検出”は、分析中に1本又は2本だけ検出されたことを示す。

注4) 『石綿以外で確認された繊維』の例としては、ロックウール、グラスウールなどの人造鉱物繊維（MMF）、セルロース（CE）、合成有機繊維（SYN）、タルク（TA）、ウォラストナイト（WO）、ネマライト（繊維状ブルーサイト、NE）、石こう（GYP）、セピオライト（SE）などがある。

菊川総合支所 第1事務所 煙突

ダイオキシン分析結果

7検体

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務受付番号：H2018-07931
発行年月日：2019年3月12日事業者：
住所：
事業所：
所在地：
TEL：

計量証明登録番号

計量管理者

分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-01		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 390 ng/g 毒性等量 : 0.13 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No.18-0K1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-1

試料名: ①煙-01		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		ng/g	ng/g	ng/g		ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.04	0.01	1	0
	TeCDDs	1.3	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.04	0.01	1	0
	PeCDDs	0.19	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.04	0.01	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.028	0.008	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.06	0.02	0.1	0
	HxCDDs	0.18	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.58	0.04	0.01	0.01	0.0058
	HpCDDs	1.1	-	-	-	-
	OCDD	4.5	0.07	0.02	0.0003	0.00135
Total PCDDs	7.3	-	-	-	0.0072	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.025	0.007	0.1	0
	TeCDFs	0.53	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.05	0.01	0.03	0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.099	0.025	0.007	0.3	0.0297
	PeCDFs	0.42	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.04	0.01	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.05	0.01	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.032	0.009	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	ND	0.04	0.01	0.1	0
	HxCDFs	0.37	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.48	0.04	0.01	0.01	0.0048
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.06	0.05	0.01	0.01	0.0006
	HpCDFs	0.74	-	-	-	-
	OCDF	0.33	0.07	0.02	0.0003	0.000099
Total PCDFs	2.4	-	-	-	0.035	
Total (PCDDs + PCDFs)		9.7	-	-	-	0.042
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.41	0.05	0.01	0.0003	0.000123
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	9.7	0.04	0.01	0.0001	0.00097
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.78	0.04	0.01	0.1	0.078
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	ND	0.06	0.02	0.03	0
	Non-ortho PCBs	11	-	-	-	0.079
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	2.7	0.06	0.02	0.00003	0.000081
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	250	0.04	0.01	0.00003	0.0075
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	85	0.06	0.02	0.00003	0.00255
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	4.8	0.04	0.01	0.00003	0.000144
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	8.0	0.028	0.008	0.00003	0.000240
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	15	0.04	0.01	0.00003	0.00045
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	3.0	0.028	0.008	0.00003	0.000090
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.28	0.06	0.02	0.00003	0.0000084
Mono-ortho PCBs	370	-	-	-	0.011	
Total DL-PCBs		380	-	-	-	0.090
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		390	-	-	-	0.13

- 備考 1. 単位: ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)
2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
3. 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。
4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務

受付番号：H2018-07931

発行年月日：2019年3月12日

事業者：

住所：

事業所：

所在地：

T E L：

計量証明登録番号：

計量管理者

分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-02		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 38 ng/g 毒性等量 : 0.034 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No18-0K1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-2

試料名: ①煙-02		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		ng/g	ng/g	ng/g		ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.006	0.002	1	0
	TeCDDs	0.68	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.005	0.002	1	0
	PeCDDs	0.14	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.009	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.013	0.011	0.003	0.1	0.0013
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.007)	0.018	0.005	0.1	0
	HxCDDs	0.12	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.22	0.005	0.002	0.01	0.0022
	HpCDDs	0.42	-	-	-	-
OCDD	1.3	0.006	0.002	0.0003	0.00039	
Total PCDDs	2.7	-	-	-	0.0039	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	0.021	0.011	0.003	0.1	0.0021
	TeCDFs	0.39	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.023	0.004	0.001	0.03	0.00069
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.009	0.007	0.002	0.3	0.0027
	PeCDFs	0.20	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.014	0.009	0.003	0.1	0.0014
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.009	0.007	0.002	0.1	0.0009
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.006	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.008)	0.009	0.003	0.1	0
	HxCDFs	0.092	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.033	0.004	0.001	0.01	0.00033
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.005	0.002	0.01	0
	HpCDFs	0.068	-	-	-	-
	OCDF	0.051	0.022	0.007	0.0003	0.0000153
Total PCDFs	0.79	-	-	-	0.0081	
Total (PCDDs + PCDFs)		3.4	-	-	-	0.012
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.041	0.004	0.001	0.0003	0.0000123
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	1.2	0.005	0.002	0.0001	0.00012
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.21	0.012	0.003	0.1	0.021
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	0.009	0.006	0.002	0.03	0.00027
	Non-ortho PCBs	1.5	-	-	-	0.021
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	0.35	0.006	0.002	0.00003	0.0000105
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	19	0.004	0.001	0.00003	0.00057
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	8.9	0.012	0.003	0.00003	0.000267
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	0.40	0.009	0.003	0.00003	0.0000120
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	1.1	0.007	0.002	0.00003	0.000033
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	2.7	0.013	0.004	0.00003	0.000081
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.69	0.015	0.005	0.00003	0.0000207
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.10	0.017	0.005	0.00003	0.0000030
Mono-ortho PCBs	33	-	-	-	0.0010	
Total DL-PCBs		35	-	-	-	0.022
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		38	-	-	-	0.034

- 備考 1. 単位:ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)
 2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 3. 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。
 4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務

受付番号：H2018-07931
発行年月日：2019年3月12日

事業者：
住所：
事業所：
所在地：
TEL：

計量証明登録番号：

計量管理者
分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-		採取年月日：2019年2月15日
試料名：①煙-03		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 23 ng/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
	毒性等量 : 0.026 ng-TEQ/g	
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No.18-OK1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-3

試料名: ①煙-03		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		ng/g	ng/g	ng/g		ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.005	0.002	1	0
	TeCDDs	0.94	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.004	0.001	1	0
	PeCDDs	0.26	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.008	0.002	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.016 (0.011)	0.009	0.003	0.1	0.0016
	1,2,3,7,8,9-HxCDD		0.016	0.005	0.1	0
	HxCDDs	0.16	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.24	0.004	0.001	0.01	0.0024
	HpCDDs	0.44	-	-	-	-
	OCDD	1.1	0.005	0.002	0.0003	0.00033
Total PCDDs	2.9	-	-	-	0.0043	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	0.056	0.009	0.003	0.1	0.0056
	TeCDFs	0.29	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.018	0.0031	0.0009	0.03	0.00054
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.006	0.002	0.3	0
	PeCDFs	0.14	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.011	0.008	0.002	0.1	0.0011
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.008	0.006	0.002	0.1	0.0008
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.005	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.007)	0.008	0.002	0.1	0
	HxCDFs	0.076	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.029	0.0031	0.0009	0.01	0.00029
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.004	0.001	0.01	0
	HpCDFs	0.054	-	-	-	-
	OCDF	0.030	0.019	0.006	0.0003	0.000090
Total PCDFs	0.59	-	-	-	0.0083	
Total (PCDDs + PCDFs)		3.5	-	-	-	0.013
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.030	0.0031	0.0009	0.0003	0.000090
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.64	0.004	0.001	0.0001	0.000064
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.12	0.010	0.003	0.1	0.012
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	0.007	0.005	0.002	0.03	0.00021
	Non-ortho PCBs	0.80	-	-	-	0.012
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	0.16	0.005	0.002	0.00003	0.0000048
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	11	0.0031	0.0009	0.00003	0.00033
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	5.0	0.010	0.003	0.00003	0.000150
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	0.30	0.008	0.002	0.00003	0.000090
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.63	0.006	0.002	0.00003	0.0000189
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	1.6	0.011	0.003	0.00003	0.000048
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.42	0.013	0.004	0.00003	0.0000126
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.073	0.014	0.004	0.00003	0.00000219
Mono-ortho PCBs	19	-	-	-	0.00058	
Total DL-PCBs	20	-	-	-	0.013	
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		23	-	-	-	0.026

- 備考 1. 単位:ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)
 2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 3. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務

受付番号：H2018-07931
発行年月日：2019年3月12日

事業者：
住所：
事業所：
所在地：
TEL：

計量証明登録番号：

計量管理者
分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-04		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 10 ng/g 毒性等量 : 0.0089 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No18-0K1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-4

試料名: ①煙-04		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		ng/g	ng/g	ng/g		ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.006	0.002	1	0
	TeCDDs	0.18	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.005	0.001	1	0
	PeCDDs	0.049	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.009	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.011	0.003	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.018	0.005	0.1	0
	HxCDDs	0.043	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.076	0.005	0.001	0.01	0.00076
	HpCDDs	0.16	-	-	-	-
	OCDD	0.90	0.006	0.002	0.0003	0.000270
Total PCDDs	1.3	-	-	-	0.0010	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	(0.009)	0.011	0.003	0.1	0
	TeCDFs	0.039	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.004	0.001	0.03	0
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.006	0.002	0.3	0
	PeCDFs	0.007	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.009	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.007	0.002	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.006	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	ND	0.009	0.003	0.1	0
	HxCDFs	0.022	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.022	0.004	0.001	0.01	0.00022
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.005	0.001	0.01	0
	HpCDFs	0.041	-	-	-	-
	OCDF	0.037	0.021	0.006	0.0003	0.0000111
Total PCDFs	0.15	-	-	-	0.00023	
Total (PCDDs + PCDFs)		1.5	-	-	-	0.0013
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.008	0.004	0.001	0.0003	0.0000024
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.25	0.005	0.001	0.0001	0.000025
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.074	0.011	0.003	0.1	0.0074
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	(0.004)	0.006	0.002	0.03	0
	Non-ortho PCBs	0.34	-	-	-	0.0074
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	0.071	0.006	0.002	0.00003	0.00000213
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	4.3	0.004	0.001	0.00003	0.000129
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	2.1	0.011	0.003	0.00003	0.000063
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	0.097	0.008	0.003	0.00003	0.00000291
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.34	0.006	0.002	0.00003	0.0000102
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	0.96	0.013	0.004	0.00003	0.0000288
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.25	0.015	0.004	0.00003	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.065	0.016	0.005	0.00003	0.00000195
Mono-ortho PCBs	8.2	-	-	-	0.00025	
Total DL-PCBs	8.5	-	-	-	0.0077	
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		10	-	-	-	0.0089

備考 1. 単位: ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)

2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

3. 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務受付番号：H2018-07931
発行年月日：2019年3月12日事業者：
住所：
事業所：
所在地：
TEL：

計量証明登録番号：

計量管理者
分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-05		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 3.7 ng/g 毒性等量 : 0.013 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No18-OK1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-5

試料名: ①煙-05		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度 ng/g	試料における 定量下限 ng/g	試料における 検出下限 ng/g	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.006	0.002	1	0
	TeCDDs	0.087	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.005	0.002	1	0
	PeCDDs	0.067	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.010	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.012	0.004	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.020	0.006	0.1	0
	HxCDDs	0.073	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.12	0.005	0.002	0.01	0.0012
	HpCDDs	0.22	-	-	-	-
	OCDD	0.81	0.006	0.002	0.0003	0.000243
Total PCDDs	1.3	-	-	-	0.0014	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	0.025	0.012	0.004	0.1	0.0025
	TeCDFs	0.30	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.019	0.004	0.001	0.03	0.00057
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.014	0.007	0.002	0.3	0.0042
	PeCDFs	0.22	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.012	0.010	0.003	0.1	0.0012
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.012	0.008	0.002	0.1	0.0012
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.006	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.007)	0.010	0.003	0.1	0
	HxCDFs	0.089	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.021	0.004	0.001	0.01	0.00021
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.005	0.002	0.01	0
	HpCDFs	0.038	-	-	-	-
	OCDF	0.028	0.024	0.007	0.0003	0.0000084
Total PCDFs	0.68	-	-	-	0.0099	
Total (PCDDs + PCDFs)		1.9	-	-	-	0.011
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	ND	0.004	0.001	0.0003	0
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.051	0.005	0.002	0.0001	0.0000051
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.019	0.013	0.004	0.1	0.0019
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	(0.004)	0.006	0.002	0.03	0
	Non-ortho PCBs	0.074	-	-	-	0.0019
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	0.016	0.006	0.002	0.00003	0.00000048
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	0.94	0.004	0.001	0.00003	0.0000282
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	0.46	0.013	0.004	0.00003	0.0000138
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	0.024	0.009	0.003	0.00003	0.00000072
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.059	0.007	0.002	0.00003	0.00000177
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	0.17	0.014	0.004	0.00003	0.0000051
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.044	0.016	0.005	0.00003	0.00000132
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	ND	0.018	0.005	0.00003	0
	Mono-ortho PCBs	1.7	-	-	-	0.000051
Total DL-PCBs		1.8	-	-	-	0.0020
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		3.7	-	-	-	0.013

備考 1. 単位: ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)

2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

3. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。

4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所 御中

件名：
 菊川総合支所第1別館ほか
 含有石綿等分析調査業務

受付番号：H2018-07931
 発行年月日：2019年3月12日

事業者：
 住所：
 事業所：
 所在地：
 TEL：

計量証明登録番号：

計量管理者

分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-06		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 15 ng/g 毒性等量 : 0.015 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No.18-OK1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-6

試料名: ①煙-06		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度 ng/g	試料における 定量下限 ng/g	試料における 検出下限 ng/g	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.006	0.002	1	0
	TeCDDs	0.12	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.005	0.002	1	0
	PeCDDs	0.10	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	(0.005)	0.010	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	0.013	0.011	0.003	0.1	0.0013
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.008)	0.019	0.006	0.1	0
	HxCDDs	0.19	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.19	0.005	0.002	0.01	0.0019
	HpCDDs	0.34	-	-	-	-
	OCDD	0.99	0.006	0.002	0.0003	0.000297
Total PCDDs	1.7	-	-	-	0.0035	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	(0.010)	0.011	0.003	0.1	0
	TeCDFs	0.11	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.011	0.004	0.001	0.03	0.00033
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.010	0.007	0.002	0.3	0.0030
	PeCDFs	0.14	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.014	0.010	0.003	0.1	0.0014
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.013	0.008	0.002	0.1	0.0013
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.006	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.012	0.010	0.003	0.1	0.0012
	HxCDFs	0.10	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.035	0.004	0.001	0.01	0.00035
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.005	0.002	0.01	0
	HpCDFs	0.067	-	-	-	-
	OCDF	0.036	0.023	0.007	0.0003	0.0000108
Total PCDFs	0.46	-	-	-	0.0076	
Total (PCDDs + PCDFs)		2.2	-	-	-	0.011
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.038	0.004	0.001	0.0003	0.0000114
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	0.89	0.005	0.002	0.0001	0.000089
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.035	0.012	0.004	0.1	0.0035
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	(0.004)	0.006	0.002	0.03	0
	Non-ortho PCBs	0.97	-	-	-	0.0036
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	0.18	0.006	0.002	0.00003	0.0000054
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	6.7	0.004	0.001	0.00003	0.000201
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	4.1	0.012	0.004	0.00003	0.000123
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	0.23	0.009	0.003	0.00003	0.0000069
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.15	0.007	0.002	0.00003	0.0000045
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	0.43	0.014	0.004	0.00003	0.0000129
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.10	0.016	0.005	0.00003	0.0000030
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.027	0.017	0.005	0.00003	0.0000081
	Mono-ortho PCBs	12	-	-	-	0.00036
Total DL-PCBs	13	-	-	-	0.0040	
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		15	-	-	-	0.015

備考 1. 単位: ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)

2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。

3. 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。

4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。

5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。

分析結果報告書

下関市 菊川総合支所

御中

件名：

菊川総合支所第1別館ほか
含有石綿等分析調査業務

受付番号：H2018-07931

発行年月日：2019年3月12日

事業者：
住所：
事業所：
所在地：
TEL：

計量証明登録番号：

計量管理者

分析責任者

ご依頼による分析結果を、下記のとおり報告致します。

採取場所：-	採取年月日：2019年2月15日	
試料名：①煙-07		
分析の対象	分析の結果及び単位	分析の方法
ダイオキシン類	実測濃度 : 74 ng/g 毒性等量 : 0.035 ng-TEQ/g	平成4年 厚生省告示第192号別表第1
特記事項 単位：ng/g及びng-TEQ/g（乾燥重量あたり） 平成4年厚生省告示第192号：「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法」（最終改正：平成27年12月25日環告第146号） 持込試料 PR No18-0K1-01171 受付番号：AQ191145		

ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: AA809-7

試料名: ①煙-07		試料採取日: 2019年2月15日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		ng/g	ng/g	ng/g		ng-TEQ/g
PCDDs	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.006	0.002	1	0
	TeCDDs	0.13	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.007	0.005	0.002	1	0.007
	PeCDDs	0.083	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.010	0.003	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	(0.009)	0.012	0.004	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.020	0.006	0.1	0
	HxCDDs	0.076	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.14	0.005	0.002	0.01	0.0014
	HpCDDs	0.26	-	-	-	-
	OCDD	1.1	0.006	0.002	0.0003	0.00033
Total PCDDs	1.6	-	-	-	0.0087	
PCDFs	2,3,7,8-TeCDF	0.025	0.012	0.004	0.1	0.0025
	TeCDFs	0.35	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	0.022	0.004	0.001	0.03	0.00066
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.025	0.007	0.002	0.3	0.0075
	PeCDFs	0.30	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.020	0.010	0.003	0.1	0.0020
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.021	0.008	0.002	0.1	0.0021
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.006	0.002	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.015	0.010	0.003	0.1	0.0015
	HxCDFs	0.15	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.037	0.004	0.001	0.01	0.00037
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.005	0.002	0.01	0
	HpCDFs	0.070	-	-	-	-
	OCDF	0.040	0.024	0.007	0.0003	0.0000120
Total PCDFs	0.92	-	-	-	0.017	
Total (PCDDs + PCDFs)		2.6	-	-	-	0.025
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	0.24	0.004	0.001	0.0003	0.000072
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	5.4	0.005	0.002	0.0001	0.00054
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	0.073	0.013	0.004	0.1	0.0073
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	ND	0.006	0.002	0.03	0
	Non-ortho PCBs	5.7	-	-	-	0.0079
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	1.4	0.006	0.002	0.00003	0.000042
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	37	0.004	0.001	0.00003	0.00111
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	25	0.013	0.004	0.00003	0.00075
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	1.4	0.009	0.003	0.00003	0.000042
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	0.29	0.007	0.002	0.00003	0.0000087
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	0.78	0.014	0.004	0.00003	0.0000234
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.19	0.016	0.005	0.00003	0.0000057
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.024	0.018	0.005	0.00003	0.0000072
Mono-ortho PCBs	66	-	-	-	0.0020	
Total DL-PCBs	72	-	-	-	0.0099	
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		74	-	-	-	0.035

- 備考 1. 単位:ng/g及び ng-TEQ/g(乾燥重量あたり)
 2. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 3. 実測濃度中の"ND"は、検出下限未満であることを示す。
 4. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。
 5. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満の実測濃度をゼロとして算出した。